

# 加藤内科 広報新聞 9月号

朝晩が、少し涼しく感じられてきました。  
季節の変わり目は、体調も崩しやすくなります。  
規則正しい生活習慣を身につけて、体調管理に努めましょう。



## 成人用肺炎球菌予防接種について

堺市では、10月より成人用肺炎球菌予防接種の一部助成を開始することになりました。

### 助成実施期間

H24年10月1日 ~ H25年3月31日まで

### 接種対象者

接種日において75歳以上で 堺市在住のかた

### 助成金額

1人1回の接種に対して3,000円を堺市が負担してくれます。

加藤内科の場合 窓口にて 4,725円 お支払頂くようになります。

内訳 7,500円 - 3,000円 = 4,500円(消費税225円)  
(ワクチン代) (堺市負担分) (窓口お支払分)

※75歳未満の方は7,875円(7,500円消費税375円)になります。

**予約制になりますので、ご希望の方は受付窓口までお申し込み下さい。**

※5年間効果がありますので、過去5年間に接種されている方は必要ありません。



## インフルエンザ予防接種について

10月末日よりインフルエンザの予防接種を開始する予定です。

接種開始日、料金等詳細は決まり次第、院内に掲示致しますので、宜しくお願い致します。

## 休診のお知らせ

**10月1日(月)は院内工事のため休診させていただきます。**

(9月29日(土)午後~10月1日(月)まで、院内の工事を行います。)

※9月29日(土)午前診は通常通り行います。

ご迷惑をおかけ致しますが、宜しくお願い致します。



**これからの時期は、風邪や予防接種など診察が大変混み合うことが多くなりますので、特定健診等はお早めに受診されることをお勧め致します。**

## 加藤内科 からのお願い

高血圧の方など、お薬を飲み始めると血圧が落ち着いてきます。が、それはお薬を飲むことで血圧が安定しているためで、“治った”ということではない場合がほとんどです。

持病をお持ちの方で「お薬の副作用が怖い」「このまま飲み続けたいいけないのかな？」など、疑問があれば、ご自分で判断せず、必ず主治医に相談していただくようお願いいたします。

# 肺炎球菌による感染症を ワクチンで予防しましょう。

肺炎は、日本の死亡原因の第4位であり、年間約9万人以上の方が亡くなっています。なかでも、高齢者の方がかかると重症化しやすく、大変怖い病気です。特に、これからの時期は、かぜや、インフルエンザに感染して免疫が低下した方が、肺炎球菌に感染し持病を悪化させたり、重篤な状態に陥ることになりかねません。

**肺炎球菌**



今回、堺市でも75歳以上の方は助成制度が10月より開始されますので、まだ接種されていない方は、この機会に接種されることをお勧め致します。

※75歳未満の方は全額自己負担となります。

## ※肺炎球菌ワクチンとは？

高齢者の肺炎の中で1番多い病原体である「肺炎球菌」という細菌感染を予防するワクチンです。「肺炎球菌」が引き起こす主な病気としては、肺炎のほか、気管支炎など呼吸器感染症、副鼻腔炎、髄膜炎などがあります。予防接種することにより、肺炎の8割を予防することができ、もしかかったとしても“軽症で済む”“抗生物質が効きやすい”などの効果もあります。

## ※どのような人が接種すると良いのか？

高齢者の方(特に65歳以上の方)  
慢性呼吸器疾患、慢性心不全、肝硬変など慢性肝疾患、糖尿病などの持病をお持ちの方  
また、養護老人ホームなど長期療養施設などに居住されている方など



## ※肺炎球菌ワクチンの接種時期は？

年中いつでも可能です。  
また、「肺炎球菌ワクチン」の接種後、期間を1週間あけると別のワクチンを接種することができます。「インフルエンザワクチン」の接種も開始しますので、併用して接種されることをお勧めします。

## ※肺炎球菌ワクチンの効果の持続期間は？ また何回も接種出来るの？

約5年間効果があると言われており、以後徐々に免疫は低下します。  
個人差はありますが、5年目以降も効果は残っています。  
また、日本では5年以上経過した場合のみ2度目の再接種が出来ることになりました。  
※1度接種された方が5年以内に再接種をした場合、副反応が強くなる場合がありますので、1回目の接種日は、必ず手帳などに控えておきましょう。



予防接種は、その病気に“まったくかからない”という訳ではありません。毎日の規則正しい生活も大切です。生活習慣を整えて予防に努めましょう。

次回 10月20日発行予定